

科目名：歯科放射線・臨床検査学		必	1 単位 (45 時間)
(Oral Radiology and Laboratory Medicine) 履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義 主担当教員：角田 晃（実務経験 歯科医師〈33 年〉、歯科大学附属病院ならびに横浜クリニックでの診療従事〈25 年〉、日本歯科保存学会・歯科保存治療専門医・指導医〈17 年〉の実務経験を有する。全身的な疾患も併発している患者への対応も多く経験しており、数多い臨床的検査の情報の中から、特に注意すべき項目やその検査を行う意義等について、解説していく。） 担当教員：谷口 紀江			
学修目的	歯科放射線学：歯科診療補助を行うにあたって必要な様々な検査の方法、画像診断の概念、放射線防護の基本について理解し説明できる。 臨床検査学：超高齢社会である現代では、全身的な障がいや疾患を有する患者の歯科受診が多い。全身疾患をもつ患者の歯科診療補助を行う上でも、臨床検査の意義や検査値が表す身体の状態を知ることが重要である。そのような背景により、臨床検査に関連する理解の必要性和意義を習得する。 CP：2、3 に関連する。科目 No. S2C12H18		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	
	3. 口腔の健康支援を通して、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	歯科放射線学 ①放射線に関する基本的な知識、生体への影響と防護について説明することができる。 ②歯科におけるエックス線撮影の必要性、撮影方法の種類・手順、歯科衛生士の役割について説明することができる。 ③エックス線写真の正常像・異常像を説明することができる。 ④放射線治療患者の口腔管理について説明することができる。 臨床検査学 ①これから行おうとする検査の必要性、内容、検査に伴う不快事項、検査時間、検査項目、検査成績の意味などを説明することができる。 ②患者の身体の情報をも十分に把握し、また理解する能力を養うことができる。		
授業概要	歯科の治療をおこなうために、もはや画像検査は欠くことができない。臨床の現場で歯科衛生士が撮影や診断をおこなうことはないが、円滑な診療補助をおこなうために相応の知識が必要となる。また、エックス線を使う検査がほとんどであることから、被爆に対する患者様の不安を相談される場面も想定される。このような場合に、適切なアドバイスで		

	患者様に快適な診療の機会を提供するのも歯科衛生士の役割の一部である。そこで歯科放射線学では、エックス線を含めた放射線の性質、画像検査法、診断、放射線被爆と防護、癌の患者様に対する放射線治療について講義を行う。 歯科衛生士として習得すべき一般検査業務の概要を理解するとともに、歯科臨床における歯科的検査や近年注目されている唾液検査についてその理論を講義する。また、一部実習を行い歯科医療に関わる臨床検査業務を体得する。さらに、歯科診療中の偶発事故を理解するとともにそれに対する対処法を実践できる能力を養成する。
評価方法	歯科放射線学については、本試験のみで評価とする。試験に対するフィードバックは掲示で行う。 臨床検査学については、本試験のみで評価とする。試験に対するフィードバックは掲示で行う。 科目それぞれの比重は 50% ずつとする。
予習・ 復習時間	【予習】 0.5 時間 【復習】 0.5 時間
教科書	【歯科衛生学シリーズ】 歯科放射線学 第 2 版 医歯薬出版株式会社 【歯科衛生学シリーズ】 臨床検査 医歯薬出版株式会社
参考書	
オフィス- 連絡先	角田 晃 月一金 16:30~17:00 4 号館 2F 角田研究室 tsunoda@kdu.ac.jp。 不在時はメールでお願いします。 谷口紀江 月、水一土 9:00~17:00 附属病院 4F 画像診断科、または第 2 研究棟 1F 画像診断学講座研究室 不在時はメール (taniguchi@kdu.ac.jp) でお願いします

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	臨床検査とは 生体検査（体温測定） ①検査の種類を説明できる 検査成績の読み方を説明できる ②正しい体温測定の方法を説明できる	「予習」教科書を読んでおくこと 「復習」臨床検査の意義、生体検査と検体検査の違いを振り返ること 「キーワード」生体検査、検体検査、体温検査	講義 ○角田
2 (/)	生体検査（脈拍、血圧、血中酸素濃度検査）、検体検査（血液を用いる検査） ①脈拍、血圧、血中酸素濃度測定の方法と正常値を説明できる ②血液検査の正常値を説明できる	「予習」教科書を読んでおくこと 「復習」血液検査の種類や違い、特徴を振り返ること 「キーワード」脈拍検査、血圧検査、血液検査、血液凝固・線溶系検査	講義 ○角田
3 (/)	肝機能検査、糖尿病検査 ①肝機能検査の種類を説明できる ②糖尿病検査の種類を説明できる	「予習」教科書を読んでおくこと 「復習」肝機能検査、糖尿病検査の種類や違い、特徴を振り返ること 「キーワード」肝機能検査、糖尿病検査	講義 ○角田
4 (/)	糖尿病検査、感染症、免疫・血清検査 ①糖尿病検査、メタボリックシンドロームについて説明できる ②ウィルス感染症の検査について説明できる ③血液型検査について説明できる	「予習」教科書を読んでおくこと 「復習」糖尿病検査、免疫・血清検査の種類や違い、特徴を振り返ること 「キーワード」糖尿病検査、メタボリックシンドローム、ウィルス感染症、血液型検査	講義 ○角田
5 (/)	生化学的検査（検体検査） ①感染症検査について役割と種類を説明できる ②尿検査について理解する	「予習」教科書を読んでおくこと 「復習」感染症検査の方法、尿検査の種類と意義を振り返ること 「キーワード」塗抹検査、培養検査・同定検査、薬剤感受性試験、尿検査項目	講義 ○角田
6 (/)	病理検査 歯科的検査 摂食嚥下関連の検査 ①病理検査について理解する ②歯科的検査について役割と種類を説明できる ③摂食嚥下関連の検査について理解する	「予習」教科書を読んでおくこと 「復習」唾液検査、口臭検査、味覚検査、金属アレルギー検査のそれぞれの特徴を振り返ること 「キーワード」唾液検査、口臭検査、味覚検査、金属アレルギー検査	講義 ○角田
7 (/)	臨床検査学まとめ	「予習」これまでの講義の要点を整理し、理解すること 「復習」理解出来なかった箇所の見直し、質問など行い理解すること	講義 ○角田
8 (/)	歯科医療と放射線	「予習」教科書P 1－10	講義

	①歯科診療でX線検査が果たす役割を説明できる	「復習」歯科診療でX線の果たす役割を整理すること 以降、配布されるプリントも活用すること 「キーワード」電離放射線、X線撮影、放射線治療	○谷口
9 (/)	X線画像の形成 ①線画像の成り立ちを説明できる ②X線と生体物質との相互作用を説明できる ③X線フィルムとX線センサーを説明できる	「予習」教科書P20-26 「復習」X線撮影の時に装置・患者・フィルム／センサーで起きていることを整理すること 「キーワード」透過像・不透過像、電離作用、X線フィルム、デジタルX線撮影装置	講義 ○谷口
10 (/)	歯科におけるX線検査 ①口内法に用いる装置とフィルムを説明できる ②口内法の種類とその特徴を説明できる	「予習」教科書P27-41 「復習」歯科で用いられる口内撮影法の種類や用途、その特徴を整理すること 「キーワード」二等分法、平行法、咬翼法、咬合法	講義 ○谷口
11 (/)	歯科におけるX線検査 ①パノラマエックス線像について説明できる ②歯科・口腔外科領域で用いる画像検査を説明できる	「予習」教科書P42-61 P106-119 「復習」歯科で用いられる口外撮影法の種類や用途、その特徴を整理すること 「キーワード」パノラマエックス線撮影法、セファロ、特殊撮影法	講義 ○谷口
12 (/)	口内法X線撮影の実際と歯科衛生士の役割 ①口内法エックス線撮影の準備手順と留意点を説明できる。 ②口内法エックス線撮影のフィルムの位置づけ方法を説明できる ③口内法エックス線撮影および写真処理時の失敗原因を説明できる	「予習」教科書P62-96、108-120 「復習」口内X線撮影の特徴と、歯科衛生士の行う手順、準備、手技、写真の特徴を整理すること 「キーワード」口内法X線撮影、撮影補助、正常像・異常像	講義 ○谷口
13 (/)	パノラマX線撮影の実際と歯科衛生士の役割 ①パノラマエックス線撮影の準備手順と留意点を述べる ②パノラマエックス線撮影の患者の位置づけを説明する ③正常なパノラマエックス線像について理解する	「予習」教科書P97-107 「復習」パノラマX線撮影の特徴と、歯科衛生士の行う手順、準備、手技、写真の特徴を整理すること 「キーワード」パノラマX線撮影、撮影補助、正常像・異常像	講義 ○谷口
14 (/)	放射線の影響と防護・放射線治療と口腔管理	「予習」教科書P8-19、P121-	講義

	①X線の性質と生体への影響を説明できる ②歯科診療における放射線防護を説明できる ③口腔癌の放射線治療について説明できる ④放射線治療患者の口腔管理について説明できる	126 「復習」放射線が人体に与える影響と、歯科診療での防護の実際について整理すること。放射線治療の内容、流れ、口腔癌の放射線治療患者に対する口腔管理の内容について整理すること 「キーワード」確定的影響、確率的影響、正当化、最適化、線量限度、放射線治療、副作用	○谷口
15（ / ）	講義のまとめ	「予習」これまでの講義の要点を整理し、理解すること。 「復習」理解出来なかった箇所の見直し、質問など行い理解すること。 「キーワード」放射線、X線撮影と画像検査法、被曝と防護、放射線治療	講義 ○谷口